

(記者発表資料)



令和4年度当初予算(案) の概要

【まちの未来像】

人・自然・伝統 与謝野で織りなす 新たな未来

与謝野町

令和4年度予算のポイント

令和4年4月に町長・町議会議員選挙が執行されるため

▶ 骨格予算として編成

- 令和3年度からの継続事業については、当初予算に計上
- 投資的経費（普通建設事業等）は、継続事業を除き必要最小限とし、6月補正予算（肉付け）にて計上
- 新規事業についても、基本6月補正予算（肉付け）にて計上

▶ |

令和4年度予算のポイント

▶ 令和3年度1月補正予算・3月補正予算と一体の「15か月予算」

コロナ対策関連事業を令和3年度1月補正予算・3月補正予算に計上し、一部を除いて繰越とすることで、令和4年度当初予算と一体とした「15か月予算」とし、切れ目のない対策を講じることが可能となるよう予算編成を実施。

令和3年度1月補正予算

うち新型コロナウイルス対策関連事業（繰越分）
【4億9,015万円】

令和3年度3月補正予算

うち新型コロナウイルス対策関連事業（繰越分）
【1,199万円】

令和4年度当初予算

【114億7,300万円】
うち新型コロナウイルス対策事業
【383万円】

「15か月予算」

合計

【119億7,514万円】

うち新型コロナウイルス対策事業
【5億597万円】

▶ 2

令和4年度主要事業

「第2次総合計画の7つの分野別方針」

人・自然・伝統 与謝野で織りなす 新たな未来	一人ひとりが個性を活かし安心して働けるまち（①産業・雇用）
	地元を誇りに想い、人の流れを生むまち（②移住定住・観光交流）
	みんなが自分らしく幸せに生きるまち（③健康・福祉）
	つながりで笑顔を未来につむぐまち（④結婚・出産・子育て）
	魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち（⑤教育・文化・スポーツ）
	美しく住みやすい安心安全なまち（⑥自然・生活環境、防犯・防災）
	住民が主人公となるまち（⑦協働・コミュニティ・行財政）

第2次総合計画に掲げる与謝野町が目指す未来像

「人・自然・伝統 与謝野で織りなす 新たな未来」を目指し、まちづくりを推進します。

▶ 3

令和4年度主要事業

当初予算：当初
1・3月補正：1・3月と表記

一人ひとりが個性を活かし安心して働けるまち

新型コロナウイルス経済対策事業（①産業・雇用）		1月 3月	1億5,558万円 900万円
区分	事業概要	事業費	担当課／(財源)
継続	■住民生活支援商品券事業 住民生活支援や地域内経済の循環を目的とし、住民1人当たり5,000円の商品券を配布。	□1月補正 1億1,108	商工振興課 (国:10/10)
	■地元事業者支援事業 建設業者等の公共工事受注機会増大を目的として、自治区の要望事項である道路、河川等の修繕等を継続的に発注することで事業継続が可能となるよう支援する。	□1月補正 4,150 □3月補正 900	農林課・建設課 (国:10/10)
	■新型コロナウイルス対応雇用安定支援事業補助金 新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、経済上の理由により急激な事業活動の縮小を余儀なくされた場合等における失業の予防、その他雇用の安定を図る。	□1月補正 300	商工振興課 (国:10/10)

▶ 4

令和4年度主要事業 一人ひとりが個性を活かし安心して働けるまち

織物振興対策事業（①産業・雇用）		当初	2,566万円
区分	事業概要	事業費	担当課／(財源)
	基幹産業である織物業の担い手の発掘・育成をするともに、情報発信により産地の認知度を高め関係人口の増大を図り、持続可能な織物産地を形成することを目指し、各種施策を横断的に展開する。 1. 設備投資支援 織機等の維持補修などの経費負担に対する助成を行うことにより、生産機能の向上や底上げ、新たな商品開発の機運を高めるとともに、新たに小規模事業者に対しての下支えの支援を行い、生産力低下や後継者不足への対応を図る。 ・ 織物織機調整等支援事業補助金 ・ 織物業生産基盤支援事業費補助金 ・ テキスタイル産地化事業補助金（織物業生産設備広幅化支援） ・ 織物小規模生産基盤支援事業	150 750 800 60	商工振興課 (国：1/2) (国：1/2) (国：1/2) (国：1/2)
継続	2. 人材育成・情報発信 与謝野町織物技能訓練センターを拠点に、力織機及び手機の織物職人の養成プログラム、並びに織物産地短期滞在プログラムを構築し、町内外の人材の発掘と職業訓練機会を創出し、業界の課題である担い手不足の解消を目指す。 ・ 織物職人養成プログラム企画運営委託料	400	(国：1/2)
継続	・ 短期滞在織物体験プログラム企画運営業務委託料	80	(国：1/2)

▶ 5

令和4年度主要事業 一人ひとりが個性を活かし安心して働けるまち

区分	事業概要	事業費	担当課／(財源)
継続	3. 広域連携 ・ 絹織物等需要開拓展開推進事業費補助金 丹後ちりめん創業300年が終わり、次の100年に向けて長年の課題であった産地間の構造改革を目指し、タンゴオープンセンターを拠点とし、産地間の連携や世界市場を見据えた新たな生産、流通体制の構築を推進するため、マーケットニーズに対応したもののづくりと国内外マーケット開拓の実践を目指し、試作・販路開拓を段階的に図る。	126	

▶ 6

令和4年度主要事業
一人ひとりが個性を活かし安心して働けるまち

自然循環型農業関連事業（①産業・雇用）		当初	4,814万円
区分	事業概要	事業費	担当課／(財源)
継続	国（農林水産省）は、持続可能な食料システム（※１）の構築に向け、令和３年に「みどりの食料システム戦略」を策定し、中長期的な観点から、生産、加工、流通、消費等の各段階の取組と環境負荷低減の取組を推進するとした。 ※１ 食料システム＝食料の生産、加工、輸送及び消費に関わる一連の活動 ■自然循環型農業推進事業 与謝野町の稲作を中心とする農文化と美しい農地を守り、農業が持続可能な産業として更に発展するために「みどりの食料システム戦略」に沿った施策を進める。 ・循環型農業推進事業委託料 ・農林業振興事業費補助金 ■有機物供給施設管理運営事業 「みどりの食料システム戦略」では、化学農薬、化学肥料の使用量の低減、有機農業の面積拡大等の環境負荷低減の取組を推進しており、与謝野町においては、独自の取組である有機質肥料「京の豆っこ」を使用した農業を推進するとともに、新たな有機質原料の調達、有効性等について調査、研究を行うなど、肥料の安定的な供給態勢の構築を進める。	380 520 3,914	農林課 (国：1/2) (国：1/2) (国：1/2（一部経費を除く）)

令和4年度主要事業
地元を誇りに想い、人の流れを生むまち

お試し移住体験事業（②移住定住・観光交流）		当初	48万円
区分	事業概要	事業費	担当課／（財源）
継続	移住希望者の中には、移住後の生活環境の変化に不安を感じている方がいる。安心して定住していただくためには、まずはお試しで移住し、町（地域）や気候風土、生活スタイルの変化を体験していただくことが必要であるため、移住者の受入れに前向きで、受入後のフォローにも対応できる岩屋区内にお試し住宅を設置するもの。 お試し住宅 借家借上げ @40,000円×12ヶ月	48	観光交流課

移住定住促進事業（②移住定住・観光交流）		当初	420万円
区分	事業概要	事業費	担当課／（財源）
継続	人口減少の抑制と地域の活性化を図るため、地域情報の提供や不安の解消など側面的なサポートをはじめ、与謝野町ならではの地域の魅力を共有することで、ヒトがヒトを結ぶ相談支援ネットワークの構築及び関係人口の創出・拡大を目指す。 ・空き家バンク登録奨励金 @50,000円×10件 ・移住相談窓口等委託料 ・子育て世帯移住定住促進事業補助金 ・宿泊研修事業補助金	50 180 160 30	観光交流課 （国：1/2）

令和4年度主要事業 みんなが自分らしく幸せに生きるまち

DV被害者等支援事業(③健康・福祉)			当初 19万円
区分	事業概要	事業費	担当課／(財源)
拡充	D V被害者の避難支援に加え、D V被害申立書の作成支援、申し立て費用の助成を行う。 (継続)・D V被害者等支援費 (継続)・D V被害者緊急一時保護委託料 (新規)・D V保護命令申立て支援補助金	10 4 5	福祉課

くらしとしごとの支援ネットワーク事業(③ 健康・福祉)			当初 110万円
区分	事業概要	事業費	担当課／(財源)
継続	ひきこもりの方やひきこもりがちの方を対象とした居場所を拡充する。 外出の機会、生活リズムの確立等を図ることができるよう、居場所(外出目的となる場、交流の場)を、町内1ヶ所から2ヶ所に増設する。 居場所のメニューとして、様々な体験活動(畑作業や軽作業、小物づくり、調理、宿泊等)や学習支援(資格取得、高校卒業認定等)等を実施する他、相談事業、家族支援、訪問支援等を実施し、自己肯定感を高め、ひきこもりからの脱却、就労意欲等につなげる。 ・居場所・生活支援事業委託料	110	福祉課

▶ 9

令和4年度主要事業 みんなが自分らしく幸せに生きるまち

視聴覚障害者情報通信機器導入支援事業 (③ 健康・福祉)			当初 179万円
区分	事業概要	事業費	担当課／(財源)
継続	コロナ禍で必要な情報を得にくいとされる視覚・聴覚障害者の方に対して、タブレット端末の使い方教室や情報通信機器の導入支援を引き続き実施し、情報格差を是正する。 ・視聴覚障害者情報通信機器導入支援事業委託料 ・視聴覚障害者情報通信機器導入支援事業補助金	113 66	福祉課

新型コロナウイルスワクチン接種事業 (③ 健康・福祉)			当初 4,328万円
区分	事業概要	事業費	担当課／(財源)
継続	新型コロナウイルス感染症感染拡大を防止し、町民の生命及び健康を守るため、新型コロナウイルスワクチンの追加接種等を安全かつ円滑に実施する。 ・医療機関の協力により、各医療機関での個別接種及び集団によるワクチン接種を実施。	4,328	保健課 (国：10/10)

▶ 10

令和4年度主要事業 みんなが自分らしく幸せに生きるまち

高齢者福祉施設整備助成事業(③健康・福祉)		当初	3億1,623万円
区分	事業概要	事業費	担当課／(財源)
新規	社会福祉法人等の2事業者に対して、京都府の特別養護老人ホーム生活空間向上推進事業費補助金、地域密着型サービス等整備等助成事業補助金を活用し、建設事業費の支援を行う。 ・特別養護老人ホーム生活空間向上推進事業費補助金 ・地域密着型サービス等整備等助成事業補助金	2億7,843 3,780	福祉課 (府:10/10)

▶ 11

令和4年度主要事業 つながりで笑顔を未来につむぐまち

家庭支援事業(④ 結婚・出産・子育て)		当初	304万円
区分	事業概要	事業費	担当課／(財源)
継続	■ひとり親家庭住居費支援 公営住宅の入居を希望したが、入居できなかったため民間の借家に暮らすひとり親家庭からの申請により、民間借家と公営住宅の家賃の差額相当について、月額15千円、12月を上限として支援する。併せて支援実施期間中に公営住宅等募集等に関する情報提供等、住居に関する相談に応じる。 ・ひとり親家庭住宅費支援給付金	54	子育て応援課
継続	■ひとり親家庭養育費確保支援 養育費の取決めに要した経費のうち、弁護士に依頼した公正証書等作成手数料、公証人手数料、家庭裁判所の調停申立てに要する収入印紙代及び郵便切手代について、50,000円を上限とし、補助する。 ・ひとり親家庭養育費確保支援補助金	50	子育て応援課
継続	■ファミリーサポートセンター事業 子育て中の家庭(会員)が仕事や急用で子どもの世話ができないとき、臨時的に地域の人(会員)が子育てを応援する会員同士の相互援助組織として、ファミリーサポートセンターを設置する。 ・ファミリーサポートセンター委託料	250	子育て応援課 (国:1/3) (府:1/3)

▶ 12

令和4年度主要事業 つながりで笑顔を未来につむぐまち

小規模保育事業(④ 結婚・出産・子育て)		当初	3,053万円
区分	事業概要	事業費	担当課／(財源)
新規	令和3年度に開設されたNPO法人こどもの森保育園による小規模保育所の運営に係る補助金を計上。	3,053	子育て応援課 (国:1/2) (府:1/4)

▶ 13

令和4年度主要事業 魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち

学校ICT環境整備事業(新型コロナウイルス対策事業) (⑤ 教育・文化・スポーツ)		3月	199万円
区分	事業概要	事業費	担当課／(財源)
継続	令和2年度に整備した児童・生徒の学習用タブレット端末を活用した教育をさらに進めるため、ドリル教材及びプログラミング教育教材を購入する。	□3月補正 199	学校教育課 (国:10/10)

高校魅力化推進事業(⑤教育・文化・スポーツ)		当初	798万円
区分	事業概要	事業費	担当課／(財源)
継続	町内唯一の高校であり、町の最高学府である宮津天橋高校加悦谷学舎との協働をより一層推進し、地域に選ばれる学校づくりと将来の与謝野町を担う人づくりに資する。 (1)魅力化コーディネーターの常駐配置 ・地域探究学習・キャリア教育の調整補助と魅力化ビジョンの推進 ・積極的な魅力の発信 (2)学校推薦型・総合型選抜対策講座 ・地域探究、キャリア教育で磨いた知識・経験を言語化し、将来の地域貢献を意識した進路につなげる	798	社会教育課

▶ 14

令和4年度主要事業 美しく住みやすい安心安全なまち

よさの百年の暮らし委員会事業（⑥自然・生活環境、防犯・防災）

当初 55万円

区分	事業概要	事業費	担当課／(財源)
継続	令和2年度に改訂した「与謝野町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」に基づき、「2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロ」にするため、「よさの百年の暮らし委員会（愛称：みらいふ）」を主体に、地球温暖化防止や環境保全の啓発事業を実施（グリーンカーテン講習会、環境イベントなど）。 また、阿蘇海流域を美しくするため、気軽にボランティア清掃活動を実施してもらう取組として、「ちよこっとボランティア（愛称：ちよこボラ）」を推進。 ・よさの百年の暮らし委員会委員報酬 ・よさの百年の暮らし委員会補助金	36 19	住民環境課

阿蘇海等環境づくり事業（⑥自然・生活環境、防犯・防災）

当初 119万円

区分	事業概要	事業費	担当課／(財源)
継続	平成28年度に「美しく豊かな阿蘇海をつくり未来へつなぐ条例」を宮津市と同時制定し、条例に基づき「阿蘇海の日」を設け、本町と宮津市との共同で環境浄化等の啓発事業の取り組みを実施。令和4年度は、阿蘇海周辺の清掃活動を実施予定。 また、阿蘇海等環境改善啓発ポスターコンクール、一斉清掃・グリーン作戦に係る経費の一部補助、野田川等の水質検査、海岸漂着物の回収等を通じた環境保全の取組を実施。	119	住民環境課

15

令和4年度主要事業 美しく住みやすい安心安全なまち

農業用施設整備事業（⑥自然・生活環境、防犯・防災）

当初 2億2,300万円

区分	事業概要	事業費	担当課
継続	■大切井堰改修事業 設置から43年が経過し老朽化している、石川下地・堂谷地区の主要水利施設である「大切井堰」を改修するとともに、農地中間管理機構による担い手への農地集積を推進するもの。 ・令和2年度：測量・地質調査 ・令和3年度：設計・河川協議 ・令和4年度：改修工事	1億8,300	農林課 (国(府)6/10)
新規	■無双川水路放流施設改修事業 無双川水路の劣化が起因で2級河川である野田川河川堤防が陥没しており（現在は仮復旧済み）、早期に放流施設を新設するとともに陥没箇所を復旧するもの。	4,000	農林課

16

令和4年度主要事業 住民が主人公となるまち

よさのみらい大学運営事業
(⑦協働・コミュニティ・行財政)

当初 356万円

区分	事業概要	事業費	担当課
継続	 よさのみらい大学 YOSANO MIRAI UNIVERSITY 与謝野町をキャンパスに見立て、新しいモノやコトを発見し、出会いと交流を通じて、自分、地域、まちの未来を描き主体的に行動する人財の育成を目的に、幅広い年代層を対象とした学びの場（学校教育法上の「大学」ではない学びの場）とする。 WITHコロナ社会を見据えた第2ステージとして、「リアル（会場）とオンライン」、「双方向」、「参加者同士の関係づくり」をキーワードに掲げて運営する。 <学部概要> ●リベラルアーツコース 誰もが参加でき、幅広く質の高い教養の形成につながる単発講座 ●地域づくり学部 地域課題の解決、地域資源の活用方法、地域コミュニティづくり等を題材に、コミュニティ意識の醸成につながる講座 ●ビジネス学部 事業者の課題の気づきと解決への意識醸成を図り、抱えている課題解決や新規ビジネスのスタートアップに寄与できるような講座	356	企画財政課 商工振興課 社会教育課 (国:1/2)